

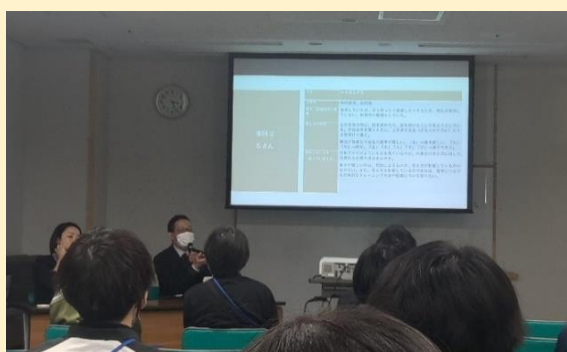


自立活動選択研修 【書く（描く）ことの苦手な子どもの「見る力」】

今回は、視覚発達支援「あおぞら」の茅野晶敬先生をお招きし、「書くこと」や「描くこと」が苦手な子どもたちの「見る力」に焦点を当てた講義を実施していただきました。講義では、小学部の児童及び中学部の生徒各1名を事例として取り上げ、それぞれの対象児童生徒の見え方について学ぶ機会となりました。

小学部の事例では、視力0.1以下の児童が教室や階段をどのように見ているかを再現した資料を用いて、見え方を疑似体験しました。また、段差や平均台を怖がる児童への支援案として、視覚的な目印（例：段差にカラーテープを貼る）などが有効であるという提案をいただきました。

中学部の事例では、書字の困難さに関するアセスメント方法や支援方法について具体的なご助言をいただきました。例えば、児童・生徒がどのような点で書字に困難を感じているのかを把握するため、「文字」と「図形」のどちらが書きやすいかを確認することが有効であることなどを学ぶことができました。



教材・教具の紹介

※本校で使用している教材教具の一部を紹介します。

自立活動の区分 1.健康の保持

手洗いチェッカー

「教育活動全体を通じた指導」の観点から、保健体育や日常生活の指導で、より効果的に手洗い指導ができる教材です。

手洗いチェッカーを手に塗って、ブラックライトにかざすと、洗い残しを視覚的に確認することができます。保健室で借りることができます。



おててポン

洗い残しがより視覚的に把握できるスタンプです。発達段階や特性に応じて手洗いチェッカーと組み合わせるとより効果的です。

自立活動の区分

3. 人間関係の形成

6. コミュニケーション



SST ボードゲーム (なかよしチャレンジ)

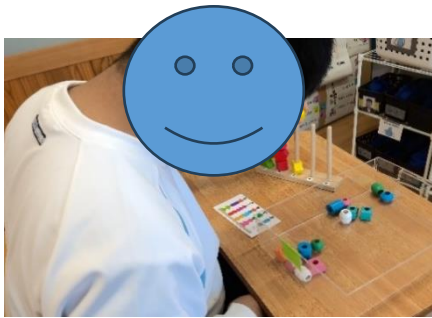
すごろく形式で友達と楽しみながら適切な人との関わり方について学べる教材です。止まったマスに描かれたイラストのカードを引き、書かれているお題について考えます。

お題に沿って自分の考えを伝えたり、友達の話に注意深く聞いたりする勉強にもなります。
※ 今年度寄付でいただいた相談支援部管理の自立活動教材です。

自立活動の区分

4. 環境の把握

5. 身体の動き



ブロック積み

手本を見ながら、棒にブロック順番に積み重ねていく教材です。ブロックの色や形、積み重ねる順番等、難易度を調整することもできます。

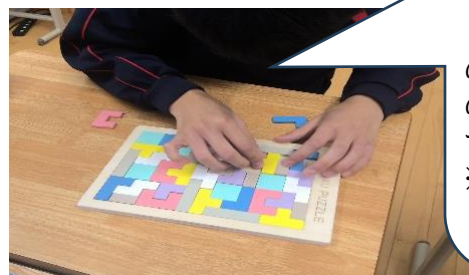
目と手の協応だけでなく、視覚認知のトレーニングとしても効果的です。

巧技台

組合せ方が無数にあり、さまざまな動きを引き出すことができます。ぶら下がったり、バランスを取ったりすることで、自分の身体に対する意識（ボディイメージ）が高まります。



Z



イクモクパズル

認知面だけでなく、指先の感覚や力加減のトレーニングにもなります。教育相談室の棚の中にありますので、ご自由に活用してください。

※ 今年度寄付でいただいた相談支援部管理の自立活動教材です。